

# ひなかけ 議会だより

No.44  
2021.1.15

発行編集:日之影町議会報編集委員会



「山間地に広がる山岳和牛の大パノラマ !!」  
(岩田篤徳さん夫婦) (岩井川中尾)

令和2年度補正予算・P3 一般質問。。。P4~P5  
議案紹介。。。。。P6 選挙公営に関する条例制度。P7  
表紙紹介。。。。。P9

## 議長あいさつ



議長 一 水 輝 明

昨年を振り返つてみると、

新型コロナウイルス感染症拡大

自然の驚異を改めて認識させられました。

一方、64年ぶりとなる新庁舎の責任とその役割を果し、町民の負託に応えるべく精進してま

は、わが国のみならず全世界に甚大な経済的・社会的影響をもたらし、医療提供体制の確保をはじめ感染防止対策に大きな課題を残しました。本町において

は、感染者は確認されなかつたものの、特に飲食店や旅館業をはじめ、本町の基幹産業でもある農林業にも多大な損害を与えました。日常生活においても、今まで経験したことのない新しい生活様式を強いられ、安心・

安全に生きることの大切さを考えさせられた一年でもあります。

会も予定され、5月6日に新庁舎による業務を開始する予定です。今後とも、住民サービスの充実を図り、防災拠点としての機能を発揮し、町民の皆様に親しまれる安心安全なまちづくり

と共に、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願い、本町の農林業・商工業等の益々の発展と町民の皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ新年のあいさつといたします。

結びに、本年は日之影町制施行70周年を迎える中、新庁舎も完成し宮水地区へ移転します。

改めて先人達の皆様に感謝する意図を込めて、町民一体となつて本町の発展に繋がるよう、取り組んでまいります。

来年度は、新型コロナウイル

ス感染症対策の影響により、国・地方ともに税収の減少が見込まれ、地方財政を取り巻く環境

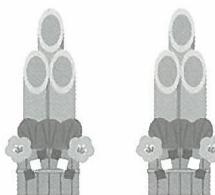
は厳しいものになると想定されています。

また、「大型で非常に強い台風10号」が9月に上陸接近し予想より勢力が落ちたものの特別警報が発令され、本町においても、農地災害の発生や道路の決壊、風倒木による停電など日常生活に大きな支障をもたらし、

謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日頃より町議会に對しまして色々とご理解、ご協

力を賜り、改めまして御礼を申し上げます。

町村議会においては、全国的な人口減少や高齢化の進む中、



## ■ 同意1件

### 【監査委員の選任について】

町監査委員に、(令和2年12月より4年間) 小林政隆氏が選任されました。退任された押方良章氏には平成28年から4年間務めていただきました。お疲れ様でした。



小林 政隆 氏

# 令和2年度日之影町一般会計及び特別会計補正予算

今回の補正是、台風災害に伴う町道、林道、農地、農業施設の災害復旧の増額、及び人事院勧告に伴う人件費、高千穂鉄道施設撤去工事費の事業中止に伴う減額並びに新型コロナウィルス感染拡大に伴う各種事業等の中止による事業費の減額が主なものである。

**補正総額 4504万円減額**

**予算総額 72億7619万円**

**1億3810万円減額**



深角橋梁撤去工事の中止

**981万円追加**



土木費

**411万円追加**



水道費  
(簡易水道事業会計繰出金)

**8900万円追加**



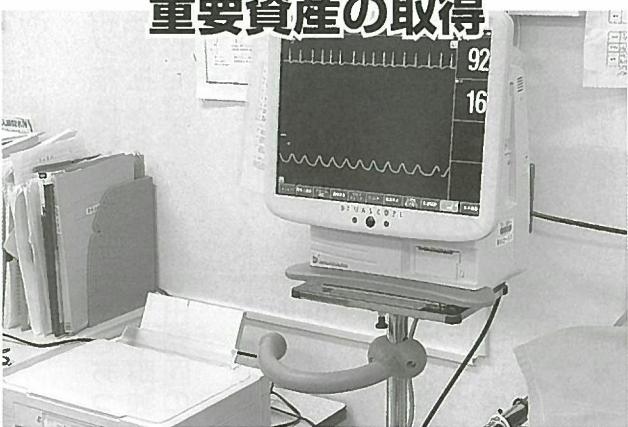
災害復旧費

**財産の取得**



日之影町役場新庁舎備品一式・5601万円  
※新庁舎は内装工事中です。

**重要資産の取得**



町病院、新型コロナ、インフルエンザ感染防止支援・3195万円

一般質問

## 避難所施設の整備状況は

今後体育館に防災無線や、たたみ設置等の対策を図る

初心を忘れず、次の世代につなぐために出馬する

## 次期選挙に向けての決意は

協議を進め適切に対応する



治幸員 小谷議員

台風10号の避難状況は

9月6日午後2時に避難勧告を発令、午後7時に最大値で201世帯335名の避難があった。そのうち天神荘保健センター、歌舞伎の館避難所が収容人員の定員に達したが、台風の規模を考慮し、あらかじめ第4次避難所の宮水小体育館を開設していたので、避難者の受入は対応することが出来た。また、避難行動支援者の避難の確認、支援を地域住民、消防団、社会福祉協議会、民生児童委員、介護支援施設等にしていただいた。

避難所施設の安心、安全確保の整備状況は

避難所24箇所は、全て洋式トイレを整備。その中で身体障がい者トイレの整備は12箇所となっている。多目的ホールや体育館などの板の間の避難所は、緩衝材になるエアマットを一定数配布した。今後、暑さ対策や畳の設置の必要性、雨が侵入した所の修繕も視野に入れ、対策を図っていく。



久川輝員 小川議員

行政を担当して二期目が過ぎようとしているが、自己評価と課題は

一期目、二期目も無投票当選をさせていただき、改めて責任の重さを痛感し、町民の目線で町民とつくる対話と協働の町政の推進に努めてきた。本町の基幹産業である農林業、商工業の振興はもとより、「安心して子育てができる環境の整備と教育の充実」「町民の健康増進と福祉の充実、介護予防の強化」さらには防災減災対策と「安心安全な町づくりの推進」地域コミュニティ地域文化活動の活性化等にも従来の政策に軸足をおきつつ推進してきた。しかしながら、施策の中にはまだこれからものや、引き続き改善を要するものもある。

次期町長選挙に向けての決意は

今まで掲げた諸施策については、ほぼ全



彦斐員 甲睦議員

昨年の「道の駅」、「新庁舎建設」等大型事業が完成した暁には新しい日之影を感じる。依存財源が大きい本町の来年度の予算編成の考えは

歳出改革の取組を強化し無駄を徹底して排除しつつ、持続可能な成長になる取り組みの積極的な展開を図る。

令和2年は終新型コロナである。国・県の動向を注視し地方創生臨時交付金の活用を図りながら感染症対策に万全を尽くす。

基金は可能な限りストックしておくことが重要である。国・県の動向を注視し地方創生臨時交付金の活用を図りながら感染症対策に万全を尽くす。

今年度は過去最高額の「ふるさと納税」であります。自主財源の少ない本町にとって有難い、ここで首長として目標額を示すべきではないか

本年度は過去最高の3千5百万円を超える見込みだ。質問である、首長として目標額を示すことは制度上そぐわないと考える。

季節的に労働力が集中する栗・ゆず等の管理収穫に担い手が不足している。ワーキングホリデイを含め滞在型の担い手確保事業が必要ではないか

消防団は私達の安心安全を守る身近な存在である。充足率87.5%の団員不足の中、から定年退職後に帰郷し就農される新たな担い手確保に努める。

消防団は生産者の高齢化、担い手不足は全品目共通の課題と捉えている。町内外の若い世代から定年退職後に帰郷し就農される新たな担い手確保に努める。

消防団は私達の安心安全を守る身近な存在である。充足率87.5%の団員不足の中、から定年退職後に帰郷し就農される新たな担い手確保に努める。

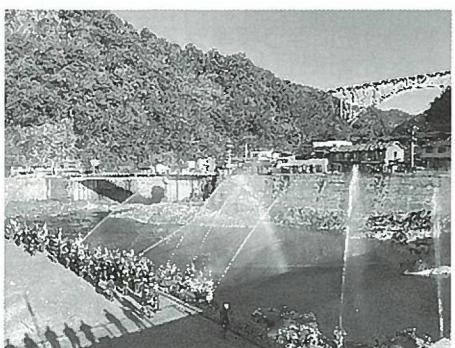
消防団は私達の安心安全を守る身近な存在である。消防年金加入促進と支援を併せて考えるべきではないか



【青雲莊 避難訓練の様子】



【日之影キャンプ村】



【消防始式 一斉放水（昨年）】

# 令和2年 第4回定例会 議案一覧

議案番号	件 名	概 要
同意 第12号	監査委員の選任について	新監査委員に小林政隆氏を選任
議案 第44号	日之影町議会議員及び日之影町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	選挙公営に関する条例制定 (P 8 参照)
議案 第45号	日之影町役場の位置に関する条例及び公の施設に関する条例の一部を改正する条例	庁舎移転に関する条例 (ページ下段 (※) を参照)
議案 第46号	日之影町立図書館の設置及び管理に関する条例の制定	図書館設置に関する条例
議案 第47号	日之影町役場庁舎の移転に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定	ページ下段 (※) を参照
議案 第48号	日之影町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告による改定
議案 第49号	日之影町議会の議員の議員報酬費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告による改定
議案 第50号	町長、副町長及び教育長給与条例の一部を改正する条例	人事院勧告による改定
議案 第51号	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告による改定
議案 第52号	日之影町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	被保険者に係る所得等の所要の見直し
議案 第53号	日之影町企業立地促進条例の一部を改正する条例	企業立地促進の為に改定
議案 第54号	令和2年度日之影町一般会計補正予算 (第7号)	別途補正概要掲載 (P 3 参照)
議案 第55号	令和2年度日之影町国民健康保険病院事業会計補正予算 (第2号)	別途補正概要掲載 (P 3 参照)
議案 第56号	令和2年度日之影町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第3号)	別途補正概要掲載 (P 3 参照)
議案 第57号	令和2年度日之影町簡易水道事業特別会計補正予算 (第4号)	別途補正概要掲載 (P 3 参照)
議案 第58号	令和2年度日之影町介護保険特別会計補正予算 (第3号)	システム改修委託料と通所型サービス事業費負担金の増
議案 第59号	令和2年度日之影町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	税制改正に伴う標準システム改修による増
議案 第60号	財産の取得について	新庁舎用の備品の取得

## ※ 庁舎移転に伴う条例の改正及び制定

今回令和3年5月6日より円滑に供用を開始できるように、「日之影町役場の位置に関する条例」について、地方自治法に基づき役場の位置を「日之影町大字七折9079番地」に変更するとともに、「公の施設に関する条例」に掲げられている「市民センター」及び「日之影町高齢者コミュニティセンター」を削除する条例改正が行われた。

また、新たに日之影町立図書館を設置するにあたり、図書館の運営等について必要な事項を定めるため、図書館法第10条に基づき、日之影町立図書館の設置及び管理に関する条例が制定された。

# 選挙公営に関する条例制定

議員のなり手不足の解消に向けて約20年前より要望してきた、『町村長・町村議会議員選挙公営制度』に係る公職選挙法の一部を改正する法律が令和2年6月8日に可決・成立、6月12日に公布された。

この改正により、本町においても条例を制定し、地方選挙の公営化対象が拡大された。  
改正のポイントは次のとあります。

## ■公職選挙法の一部を改正する法律（令和2年 法律45号）の概要

### ○町村の選挙における公営拡大と供託金導入

区分	公営の有無			供託金額	備考
	選挙運動用自動車	選挙運動用ポスター	選挙運動用ビラ		
都道府県知事選挙	○	○	○	300万円	
都道府県議会議員選挙	○	○	○	60万円	
市長選挙	○	○	○	100万円 (※1)	※1 政令指定都市の市長選挙については240万円
市議会議員選挙	○	○	○	30万円 (※2)	※2 政令指定都市の議会議員選挙については50万円
町村長選挙	×	×	×	50万円	※選挙における供託金とは被選挙人（=候補者）が公職選挙に出馬する際、選挙管理委員会等に対して寄託することが定められている場合に納める金銭もしくは債券などです。当選もしくは一定以上の結果を残した場合には供託金は全て返還されるが、有効投票総数に対して一定票（供託金没収点）に達しない場合は没収されます。
町村議会議員選挙	×	×	颁布不可 ↓ 颁布解禁 公営対象	↓ 供託金導入 15万円	

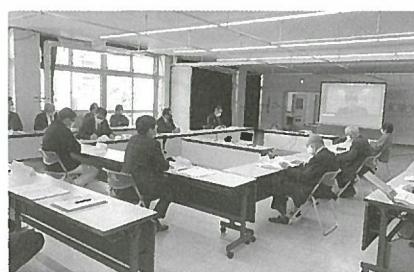
# 公立病院の広域医療等に関する特別委員会

12月8日に特別委員会を開催し、病院事務長より説明を受け

- ① 病院間での連携は進んでいるか。
  - ② 将来の方向性はどうなっているか。
  - ③ 現在行っている訪問診療への不安材料はないか。
  - ④ 一部事務組合としてではなく、県の管轄には入れないか。
  - ⑤ 医師の確保に苦労はしなくてよくなるものか。
- など、活発な意見が出されました。

次に12月21日に高千穂保健所において、第1回西臼杵郡における地域医療のあり方検討委員会が開催されました。この会は、延岡西臼杵地域医療構想調整会議西臼杵公立病院部会が取りまとめた解決プランの内容に医療関係者及び住民代表の意見を反映させ、充実したものにする為に設けたものです。会は、郡外の委員は、リモート参加になりました。委員は、各町議会から1名、郡内の各種団体から1名、郡医師会長、高千穂保健所長、西臼杵広域消防本部消防長は保健所に集まり熊大教授、宮大講師、県立延岡病院長、済生会みすみ病院総務企画課長及びコンサル業者は、新型コロナ感染症対策のためリモートでの参加になりました。

この会は3回からなり、現状分析、医療機能（入院・外来）の方向性、医師確保、経営形態等について議論することになっており、第1回目は、会の背景と目的、現状分析及び入院・外来の方向性について事務局から説明があり、共通の目的として西臼杵郡の地域医療を長期的に存続させること、長期的に持続可能な医療提供体制の仕組みを作ること等活発な質疑応答が行われました。次回は、来年の3月16日に開催されることになっています。



【地域医療のあり方検討委員会】

## ■ 経済建設常任委員会

### 【調査実施期日】

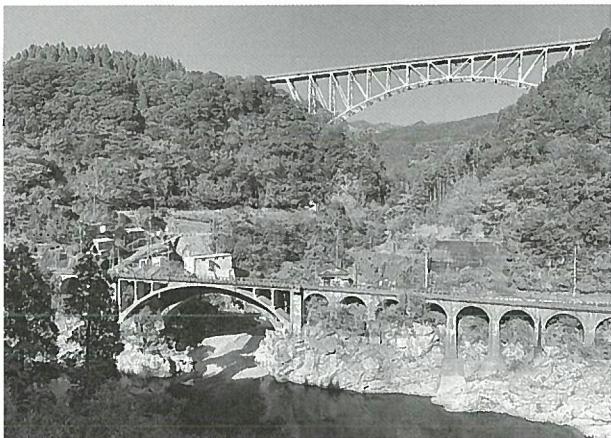
令和2年10月9日

### 【場所】

旧高千穂鉄道 第三五ヶ瀬川橋梁  
及び網ノ瀬橋梁  
県道北方高千穂線吾味トンネル付近

2基の橋梁については、平成22、  
24年にそれぞれ土木遺産に認定され、  
重要文化財として確立するため関係  
機関と協議を重ね今日に至っている。  
80年以上経過し、当時の技術を結集  
した構造物は見事である。

先ず、第三五ヶ瀬川橋梁については、  
V字鉄筋コンクリート連続方柱  
ラーメン橋と鋼製トラス橋とを組み  
合わせた構造になっている。八戸ダ  
ムの水面に映し出される景観は、四  
季折々の美しさを見せてくれる。未  
来に残す財産であることから、塗装  
の塗り替えが望まれる。網ノ瀬橋梁  
については、コンクリート橋として  
初めて、カンチレバー・エレクシヨ  
ン工法が採用されている。近代化遺  
産にふさわしいものであるが、橋台  
の基礎付近に崩落している部分が見  
られる。全貌を眺めるためには対岸



【網ノ瀬橋梁】

## ■ 総務文教常任委員会

の樹木の一部伐採が必要であることに  
から、地主や関係機関と協議する必  
要がある。

吾味トンネル付近については、た  
びたび落石や倒木があり、近隣の集  
落に被害も出ていることから早急に  
落石防止の工事が必要である。また、  
人的被害が出ないために安全策を講  
じることが必要である。

### 【期日】

令和2年9月16日・11月17日・  
11月30日

### 【場所】

役場新庁舎、青雲荘、国民健康保  
険病院、保健センター、道の駅「青  
雲橋」

高千穂たばこ販売協同組合他4団  
体の連名により提出された「陳情第  
1号 地方たばこ税を活用した分煙  
環境整備に関する陳情書」について、  
審査の経過と結果について報告する。

令和2年9月16日に健康増進法に  
おける喫煙対策について、担当職員  
より役場、病院、学校等、第一種施  
設の現状について説明を受け、町内  
の主な公共施設及び福祉施設を調査  
することに決定し、令和2年11月17  
日に役場新庁舎、青雲荘、国民健康  
保険病院、保健センター、道の駅  
「青雲橋」、口之影温泉駅を独自のチ  
ェックシートを行い現地調査を行つ  
た。

審査において、新庁舎以外の施設  
は、喫煙者への配慮や健康への影響、  
環境美化の観点から早急な取り組み  
が必要である。議会としても、町民、

行政、議会が一体となり、受動喫煙  
防止の推進に取り組んでまいりたい。

陳情書は、受動喫煙防止対策とし  
て公共施設等での喫煙場所の整備を  
推進するとともに、国に対して町と  
して地方たばこ税を公共喫煙場所の  
整備に活用できる全国的な制度の整  
備をすることを要望するものである。

以上のことから、「陳情第1号」に  
ついては、11月30日に開催した委員  
会での採決の結果、本会議において  
採択すべきものと決定しました。



【分煙環境整備が望まれる道の駅】

# 表紙者紹介

◆◆◆ 今回は岩田篤徳さん、照代さんご夫婦を紹介します ◆◆◆

問 いつ頃から畜産業を始めましたか。

答 28歳から始めました。もう42年になりますね。

問 現在の飼育頭数と年間の出荷数は何頭ですか。

答 親牛20頭に、子牛が14頭あり、市場には年間15頭くらい出しています。

問 双子の子牛が昨年3組いたようですが、今までに何組の双子が産されましたか。

答 12組くらいですかね。

問 自ら森林を切り開き放牧されていますが、どの位面積がありますか。

答 13年前から放牧していますが、広さは7.5ヘクタールで、東京ドームの2倍の広さがあります。

問 どうして放牧飼育を始めたのですか。

答 放牧することで、草を切って与えたり、糞尿処理などの労力が大変軽減し、年間3ヶ月間しか餌を買って与えないでの、経済的に助かります。それに子牛の太りが平均以上に良いからです。

問 今まで牛を飼ってきたなかで、喜びや悲しかったことは何でしょうか。

答 無事に産まれ大事に育てた子牛が、市場で高く評価されるのが喜びです。悲しいことは、病気やケガをしたり、なくなっこことですね。

問 今後牛を飼うにあたって目指すことは何ですか。

答 山間地の放牧による「日之影山岳和牛」ブランドの確立を目指したいですね。

問 最後に奥さんに一言お願いします。

答 健康に気をつけて、頑張って。

※岩田さんからお知らせ

農林水産省のHP「放牧の部屋」で、放牧動画が紹介されていますのでご覧ください。



## ■議会傍聴のご案内

12月の定例会には、町内の小中学校の児童生徒合わせて60名の方に傍聴いただきました。次回の定例会は3月です。皆様の傍聴をお待ちしております。

また、議会に対するご意見等お聞かせください。

◎問い合わせ先 議会事務局 TEL 87-3908



# 将来を担う子ども達

12月8日に、町内の中学校3年生と小学校6年生が議会の一般質問を傍聴しました。子ども達は真剣にメモをとっていました。



【日之影中学校3年生】



【町内小学校6年生】

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えることができ、誠にすがすがしい気持ちで一杯です。昨年を振り返ると、新型コロナウイルスの影響により、様々な事業が中止や延期を余儀なくされたところであり、心残りのある一年間だったように感じられます。本年は、新庁舎の供用も始まることから、心機一転、気持ちを新たに様々な物事が執り行われることを切に願うばかりであります。また、議会報も伝わりやすさ見やすさを追求して発刊していくますので、ぜひ最後までご覧ください。

## 編集後記

発行責任者	議長 一水 輝明
議会報編集委員	高館 英嗣
委員長	高館 英嗣
副委員長	工藤 英信
委員員	小谷 幸治
委員員	小川 輝久